

【秋葉原】をハブに銀座、新宿、浅草を訪問 外国人旅行者の購買動向調査にかかる定点観測調査報告(2010年9月実施)を発表

観光インバウンド支援を行う株式会社インジェスター（東京都港区 代表取締役 呉希昌）と三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンクである三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社：東京都港区 社長 水野俊秀)との共同企画「外国人旅行者の購買動向にかかる定点観測調査報告」（2010年9月実施分）を公表します。

本調査は毎月定期的に実施し、以下のURLで公表してまいります。

- ・インジェスター・プレスリリース <http://www.injestar.co.jp/release/>
- ・MURC政策研究レポート http://www.murc.jp/politics_c1/pol_report/

【実査概要】

- ・調査期間：2010年9月27日～10月3日 7日間
- ・調査方法：調査員による対面式インタビュー
- ・調査場所：成田空港
- ・回答者数：217名
- ・調査担当：株式会社インジェスター(実査および集計)／三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(設計及び分析)

【結果概要】

回答のあった旅行者の状況について(回答不明者を除いた比較)

1. 回答者は217名で、前月の206名から5%増である。1日あたりでは31.0名で、前月の17.2名から80.2%増である。
2. 性比(※1)は、146で前月調査の108に比べて女性の構成比が激減している。
3. 平均年齢(※2)は41.8歳で、前月調査の39.1歳より上昇している。40歳代、50歳代、60歳代の構成比が上昇し、若年層が大幅に減少している。最頻値は40歳代となり、前月調査の30歳代から高齢化している。
4. 回答者に占める中国人比率は57.3%で、前月調査の49.7%から7.6ポイント増と大きく増えている。一方で韓国人は10.2ポイント減と大きく減少した。

旅行者の旅行行動について(回答不明者を除いた比較)

1. 主な渡航目的は「観光」が69.6%で最も多く、「業務」19.3%であった。その他の回答では「乗継」が6.6%観測されている。
2. 渡航目的が「観光」の旅行者のうち、団体旅行者が56.7%占めている。
3. 日本での訪問先としては「秋葉原」が56.3%と過半数に達している。次いで「銀座」45.1%、「新宿」35.2%、「浅草」22.5%、「お台場」21.1%の人气が高い。人気観光地の中では、「横浜」「東京ディズニーリゾート」はともに2.8%に留まった。関西圏では「大阪」12.7%、「京都」11.3%となっている。

旅行者の購買動向について(回答不明者を除いた比較)

1. 空港免税店で何らかの商品を購入したのは90.3%に達しているが、そのうち空港免税店での購入をあらかじめ予定していた商品があった人は47.0%、特に予定していなかった商品を購入した人は53.0%である。
2. 自分用に購入した商品がある人は74.6%であり、おみやげ用に購入した商品がある人は41.4%である。おみやげ用の内訳は、家族向け、友人向け、同僚向けの順である。

※1 性比=男性数/女性数*100

※2 20歳代以下は24.5歳、30歳代は34.5歳、40歳代は44.5歳、50歳代は54.5歳、60歳代以上は64.5歳を代表年齢として算出。

◆◆本リリースに関するお問い合わせ先◆◆

株式会社インジェスター SG推進室 広報担当：尹日洙(ユン・イルス) E-MAIL: sg@injestar.co.jp

Tel 03-5575-2691 Fax 03-5575-2694 <http://www.injestar.co.jp/> 〒106-0041 東京都港区麻布台1-11-5 東京麻布台セミナーハウス7階

(添付資料)

外国人旅行者の購買動向にかかる定点観測調査 (2010年9月)

【集計結果】 (*1)

1. 旅行者に関する観測結果

* 性別

	男性	女性	不明
n=217	217	87	3
比率	58.5%	40.1%	1.4
不明者を除いた比率	59.3%	40.7%	--

* 年齢別

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	不明
n=217	27	53	81	38	7	11
比率	12.4%	24.4%	37.3%	17.5%	3.2%	5.1%
不明者を除いた比率	13.1%	25.7%	39.3%	18.4%	3.4%	--

* 国・地域別

	韓国	中国	台湾	その他アジア	欧米	その他	不明
n=217	16	114	6	28	25	10	18
比率	7.4%	52.5%	2.8%	12.9%	11.5%	4.6%	8.3%
不明者を除いた比率	8.0%	57.3%	3.0%	14.1%	12.6%	5.0%	--

2. 旅行行動に関する観測結果

* 主な訪日目的

	観光	業務	乗継	その他	不明
n=217	126	36	12	7	36
比率	58.1%	16.6%	5.5%	3.2%	16.6%
不明者を除いた比率	69.6%	19.9%	6.6%	3.9%	--

* 訪日目的が「観光」の場合の旅行形態

	個人旅行	団体旅行	不明
n=126	52	68	6
比率	41.3%	54.0%	4.8%
不明者を除いた比率	43.3%	56.7%	--

* 日本での訪問先（複数回答可）

	個人旅行	団体旅行	不明
n=217	52	68	6
比率	41.3%	54.0%	4.8%
不明者を除いた比率	43.3%	56.7%	--

【少数意見】

東京タワー：11、六本木：10、渋谷：9、大阪：9、上野：8、京都：8、原宿・明治神宮：7、
東京ディズニーリゾート：2、横浜：2、その他観光地：7

3. 購買行動に関する観測結果

* 空港免税店での購買行動

	個人旅行	団体旅行
n=217	196	21
比率	90.3%	9.7%

* 購入予定商品の有無

	はい	いいえ	不明
n=196	164	29	3
比率	83.7%	14.8%	1.5%
不明者を除いた比率	47.0%	53.0%	--

* 商品の購買目的（複数回答可）

	自分用	お土産用	その他	不明
n=196	126	70	4	27
比率	64.3%	35.7%	2.0%	13.8%
不明者を除いた比率	74.6%	41.4%	2.4%	--

（お土産用の内訳）

	家族用	友人用	同僚用	不明
n=70	20	12	2	44
比率	28.6%	17.1%	2.9%	62.9%
不明者を除いた比率	76.9%	46.2%	7.7%	--

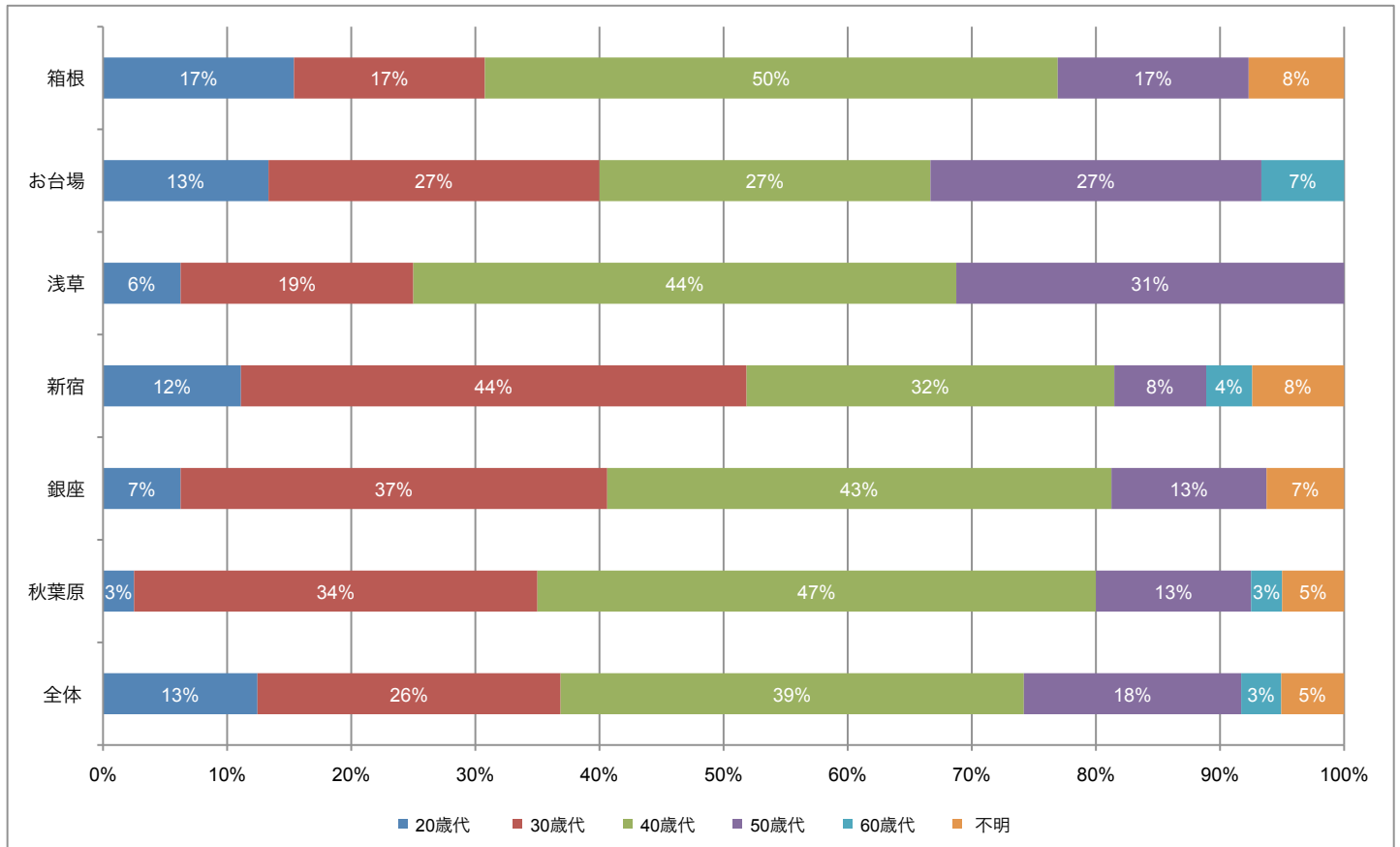
*1 端数調整の関係で、比率の合計は100%にならない場合がある。

【今月のトピックス】テーマ：人気観光地の集客特性

1.30歳代以下に人気の「新宿」「銀座」に対し、「お台場」「浅草」は比較的年齢層が高い訪問者が多い。

外国人旅行者全体では30歳代以下の若年層訪問率は39%であるが、「新宿」で56%、「銀座」で43%に達する一方、「浅草」は25%、「箱根」は33%に留まっている。一方で50歳代以上訪問率を見ると、全体では22%のところ、「お台場」は33%、「浅草」で31%となっている。

図表 「日本で訪問先」×年齢



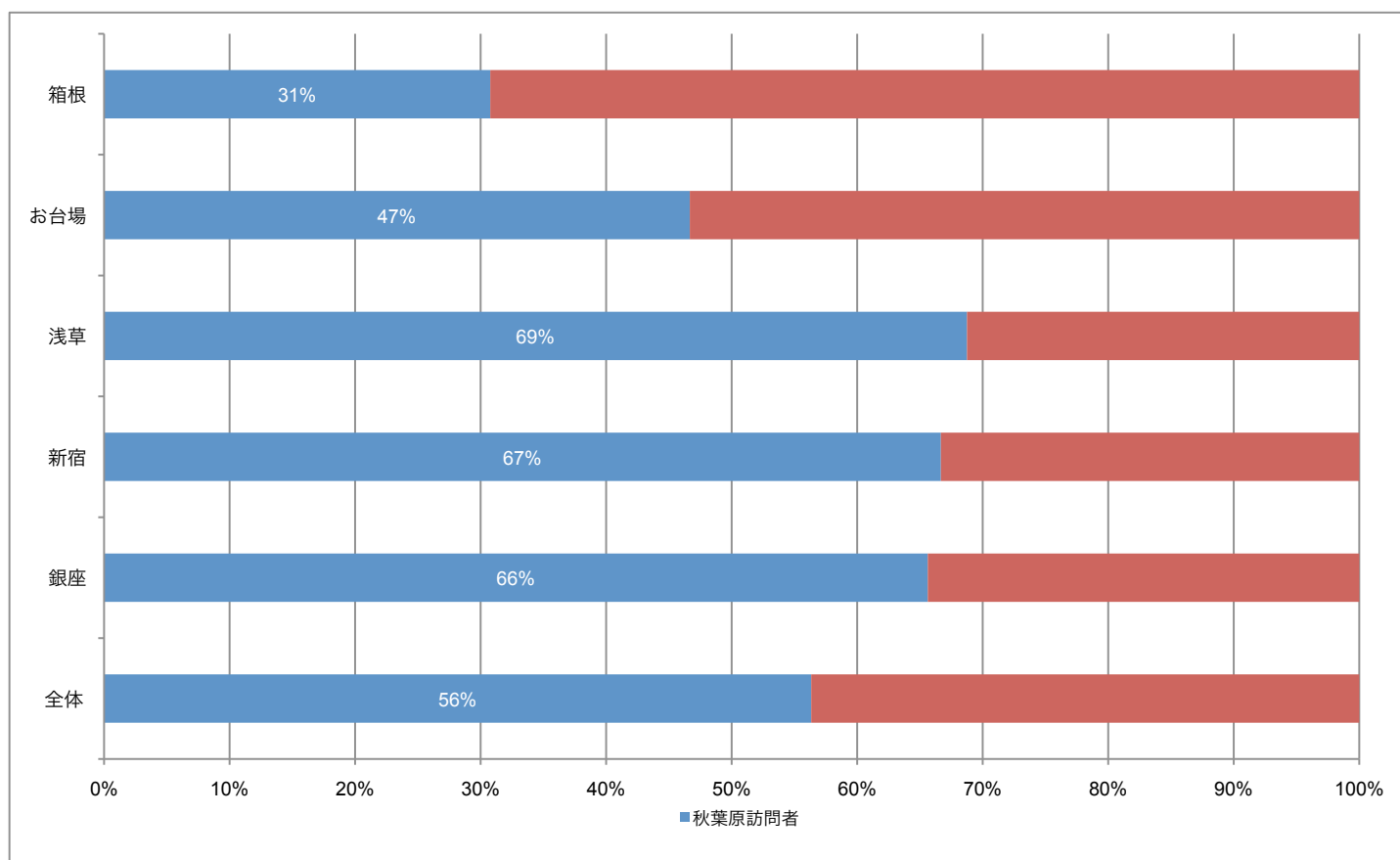
一般には大人の街と認識される「銀座」が若年層に人気があり、若者が多いイメージの「お台場」に比較的年齢層が高い観光客が訪れ、20歳代以下の訪問率で「箱根」が最も高く「秋葉原」が最も低いなど、日本人の考える街のイメージと外国人旅行者の訪問先に大きなズレがみられている。

「秋葉原」「銀座」「新宿」のようなショッピング街を訪問する人々は、訪日目的が買い物であって購買意欲の高い30歳代が中心となるためと考えられる。一方で「浅草」「お台場」「箱根」のような家族連れでも楽しめる観光地の場合、比較的年齢層の高い人々とその子どもによる訪問がみられ、中間に位置する30歳代が少なくなるためと考えられる。

2. 「銀座」「新宿」「浅草」訪問者のうち3人に2人は「秋葉原」も訪問している。「お台場」は半数、「箱根」は3人に1人である。

外国人旅行者全体で「秋葉原」を訪問したのは56%と過半数となっている。他の観光地の訪問者を「秋葉原」を訪問した人／していない人に区分すると「浅草」68.8%、「新宿」66.7%、「銀座」65.6%となっており、3人に2人が「秋葉原」にもあわせて訪問している。一方「お台場」46.7%、「箱根」30.8%で、「秋葉原」とあわせて訪問する人の割合はそれぞれ2人に1人、3人に1人まで低下している。

図表 「日本での訪問先（秋葉原）」×「日本での訪問先（秋葉原以外）」



「新宿」「銀座」は取扱主力商品こそ異なるものの、「秋葉原」と同様にショッピング街であり、買い物目的の観光客があわせて訪問していると考えられる。一方、「浅草」はやや趣きが異なるが、地理的近接性から回遊ルートが構築されている。一方、「箱根」は、「秋葉原」と距離が離れていること、観光地としての性質が異なることの双方の観点から、あわせて訪問する観光客は少ない。「お台場」は「秋葉原」と距離的にそれほど遠くないものの、街の性質が異なり、両観光地の回遊がうまくいっていないことによって、あわせて訪問する観光客が少なくなっていると考えられる。

--ご利用に際して--

- * 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- * また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- * 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- * 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所を株式会社インジェスター及び三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社共同企画「外国人旅行者の購買動向にかかる定点観測調査」と明記してください。